

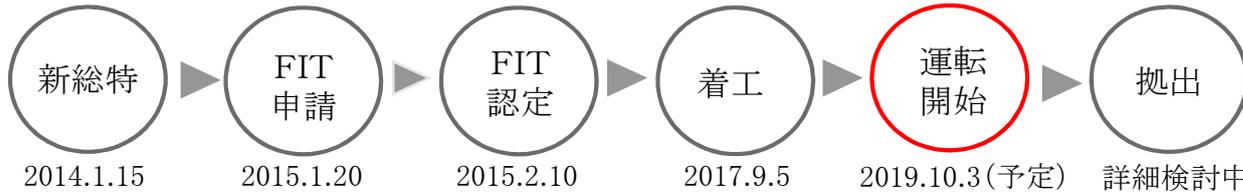
福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○トピックス 金川発電所の運転開始	_____	1
○原子力損害賠償の進捗状況	_____	2 ～ 4
○除染等推進活動状況	_____	5 ～ 6
○復興推進活動状況	_____	7 ～ 9
○流通促進活動状況	_____	10

トピックス：猪苗代水系中小経年水力発電所「^{かながわ}金川発電所」の運転開始について

- ▶ 当社は、2014年1月に公表した「新・総合特別事業計画(新総特)」において、福島県内の中小経年水力発電所の継続的設備改修による雇用創出等、福島復興に資する取り組みをお示しいたしました。
- ▶ 2015年2月には金川発電所および日橋川発電所が再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度^(注))における設備認定を取得し、設備改修工事を進めてまいりました。
- ▶ このたび、金川発電所では、新しい水車・発電機等の設置が完了し、各種試験も概ね終了して、10月3日に運転開始の見込みとなりましたのでお知らせいたします。
- ▶ なお、同じく改修工事を行っている日橋川発電所においては、2020年度中の運転開始を予定しています。

金川発電所改修工事の全体の流れ



(注) FIT制度とは

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)」は、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度。
(資源エネルギー庁HPより)

県内中小経年水力発電所の継続的な設備改修^{*}による福島復興への貢献

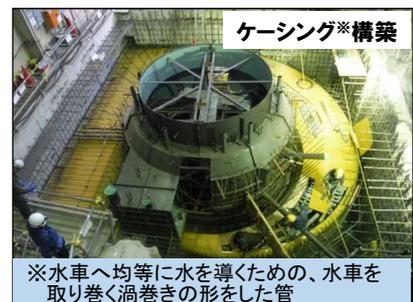
- ・ 県内雇用の創出(金川発電所改修工事で5,800人日超)
- ・ 受注事業者のご協力も得て、県内事業者から工事資機材を調達(約5,000万円)
- ・ FIT制度適用に伴い得られた収益の一部を教育・医療等の分野で福島復興に資する取り組みに抛出(検討中)

^{*}日橋川発電所および金川発電所以外の改修工事については、現在検討中

金川発電所の概要・工事の進捗

◆発電設備の改修工事概要

- ✓ 既設発電設備の撤去
- ✓ 新発電設備の据付
(改修する発電機)
 - ・ 水車発電機1台
 - ・ 最大出力6,500kW⇒7,100kW (約9%増)



金川発電所(改修工事前)



最大出力：6,500kW
 運転開始：1919年(大正8年)
 水車発電機台数：1台
 所在地：喜多方市塩川町

発電所の位置



原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

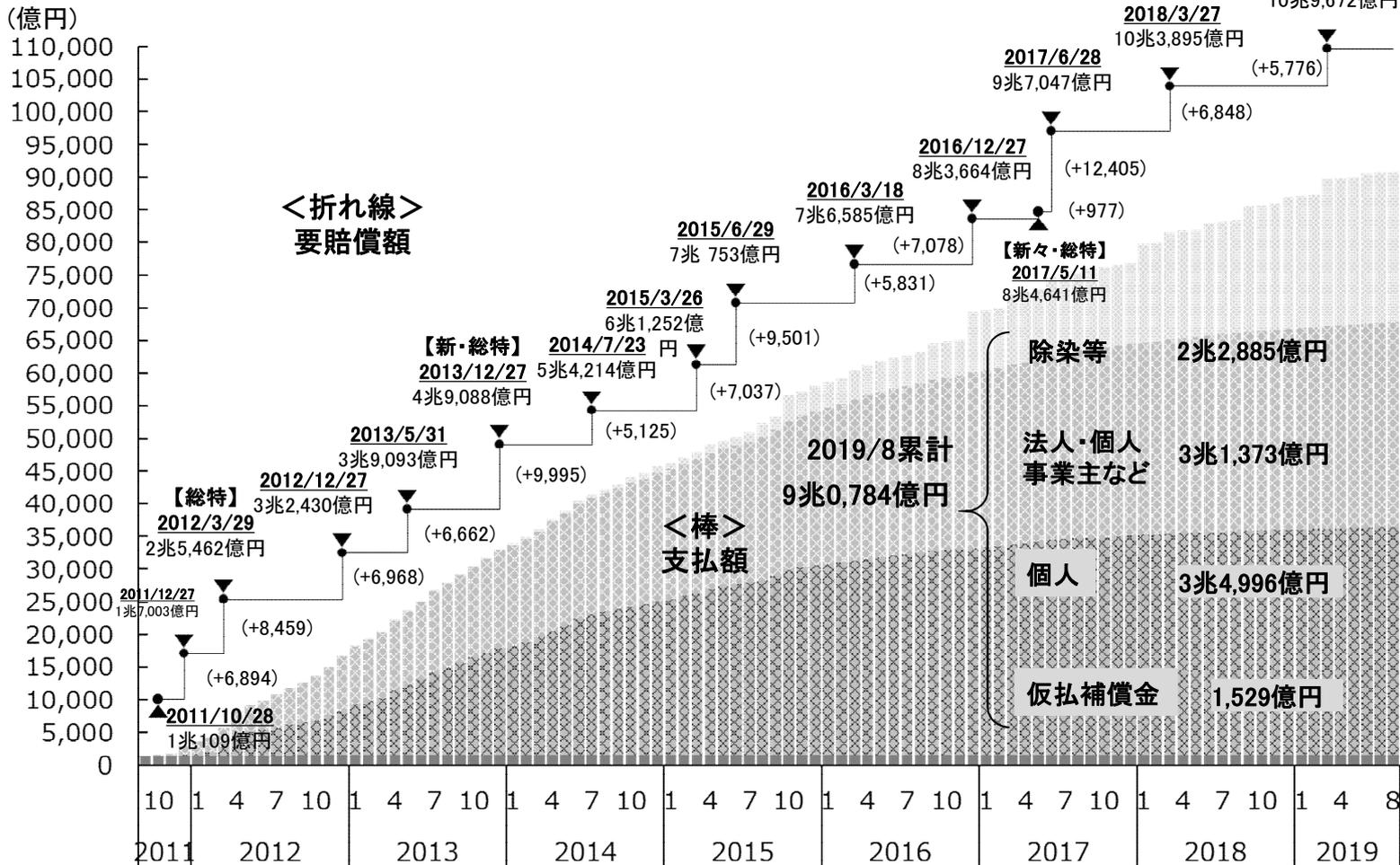
2019年8月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,410,000件	約500,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,280,000件	約431,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,996億円	約5兆4,259億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約8兆9,255億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約9兆0,784億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/19資金援助額変更申請)	合意いただけの実績※1 (2019年8月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,706億円	19,866億円
検査費用等	3,421億円	2,736億円
精神的損害	10,977億円	10,845億円
自主的避難等	3,626億円	3,625億円
就労不能損害	2,680億円	2,658億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	30,514億円	29,529億円
営業損害	5,297億円	5,241億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,200億円	17,889億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,171億円	2,482億円
間接損害等その他	3,844億円	3,916億円
III. 共通・その他	21,550億円	18,496億円
財物価値の喪失又は減少等	14,997億円	13,994億円
住居確保損害	6,303億円	4,251億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	36,900億円	22,885億円
合計	109,672億円	90,778億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 83%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2019年9月6日現在

申立件数		25,238件
解決件数		24,140件
	全部和解件数	19,423件
	取下げ件数	2,661件
	打切り件数	2,054件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		1,098件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは25,104件(8月末現在)

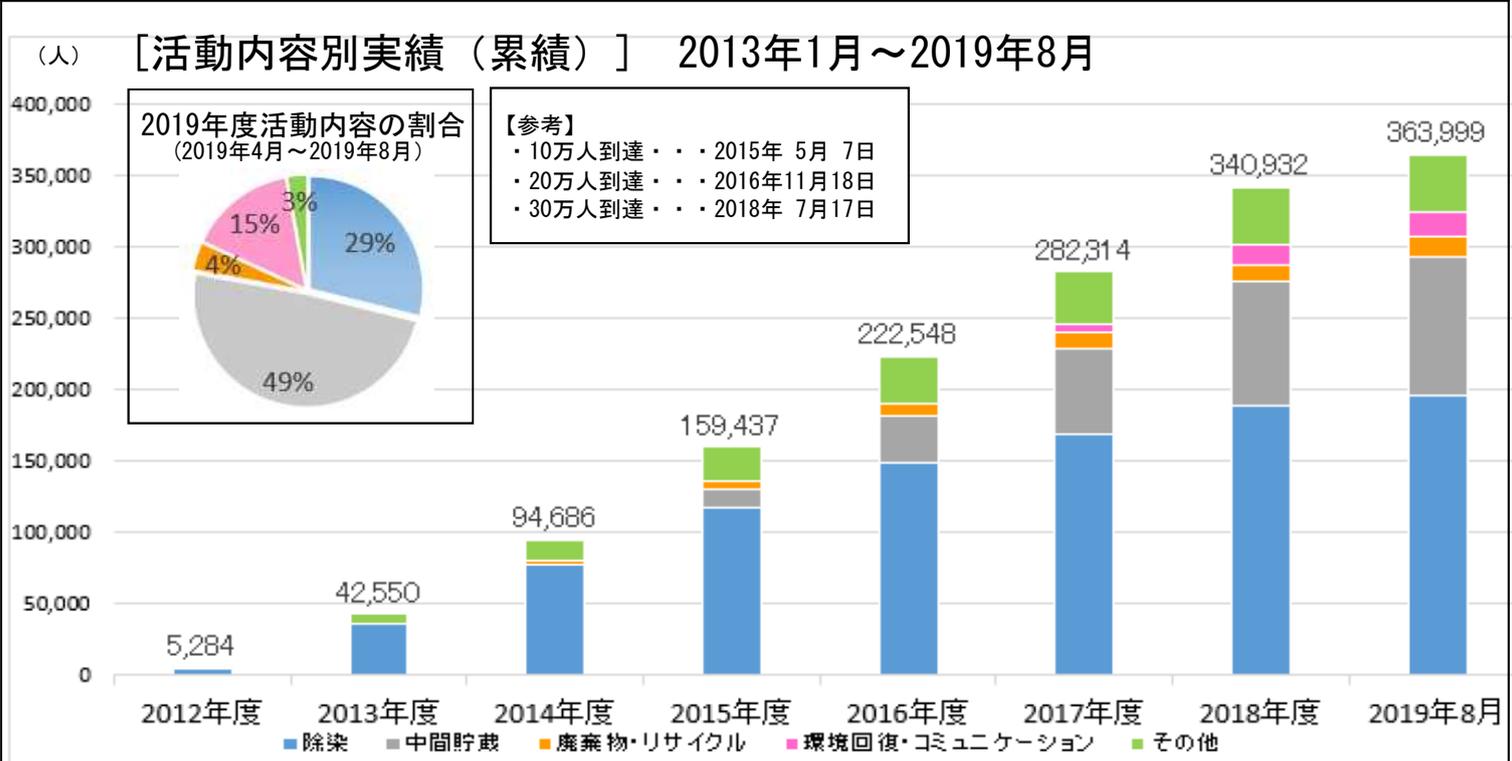
※当社に送達された件数は月平均で約121件(2019年度)

※現在進行中の件数のうち、35件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,189億円

8月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,294人 (29%)	2,002人 (46%)	295人 (7%)	681人 (16%)	120人 (2%)
8月の活動実績合計				4,392人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				363,999人



至近の主な取り組み



県道35号・国道288号の開通におけるモニタリング等への対応

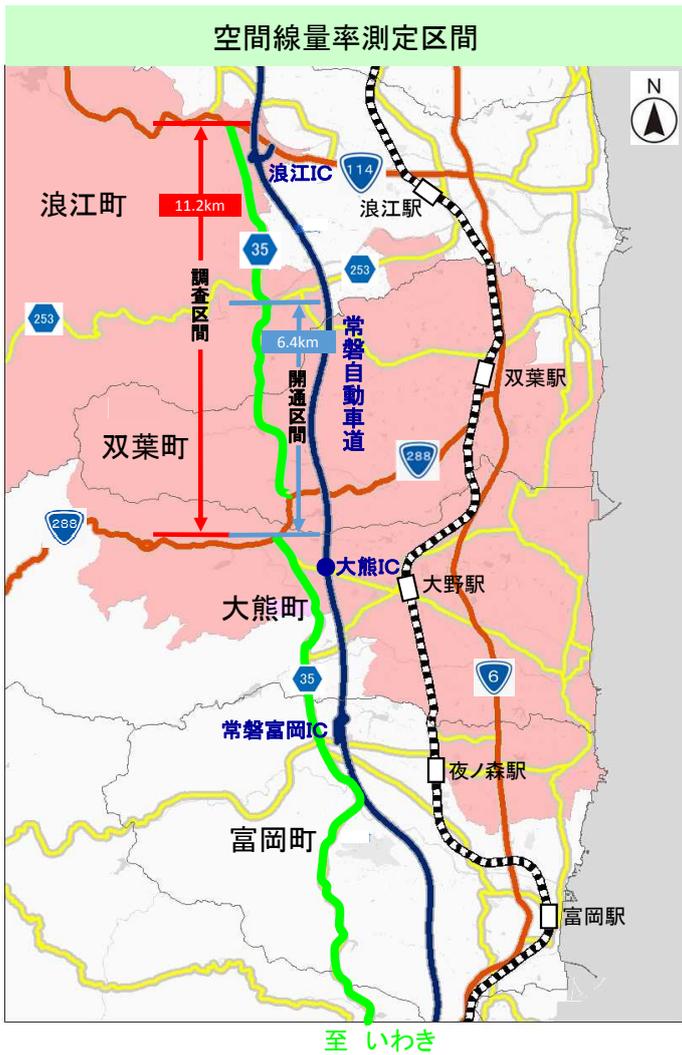
県道35号・国道288号の開通におけるモニタリング等への対応

実施時期 2019年6月7日、19日

実施場所 浪江町、双葉町、大熊町（県道35号・国道288号）

実施人数 社員 延べ10人

実施内容 内閣府からの要請により、本年9月5日の県道35号および国道288号の開通に合わせ、自動車で行った際の放射性物質の影響を確認するため、走行・歩行モニタリングによる空間線量率測定、空气中的ダスト(大気浮遊じん)の採取を実施



【引用元】：経済産業省ホームページ（2019.8.26）
 「県道35号・国道288号の帰還困難区域の特別通過交通制度の適用について」
 URL : <https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu/hinanshiji/2019/0826.html>



調査結果については、経済産業省が2019年8月26日に公表した「県道35号・国道288号における帰還困難区域の線量調査結果について（令和元年8月26日発表）」を参照

URL : https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu/hinanshiji/pdf/190826_sannkousiryoku3r.pdf



8月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
206人 (5%)	2,896人 (62%)	616人 (13%)	949人 (20%)

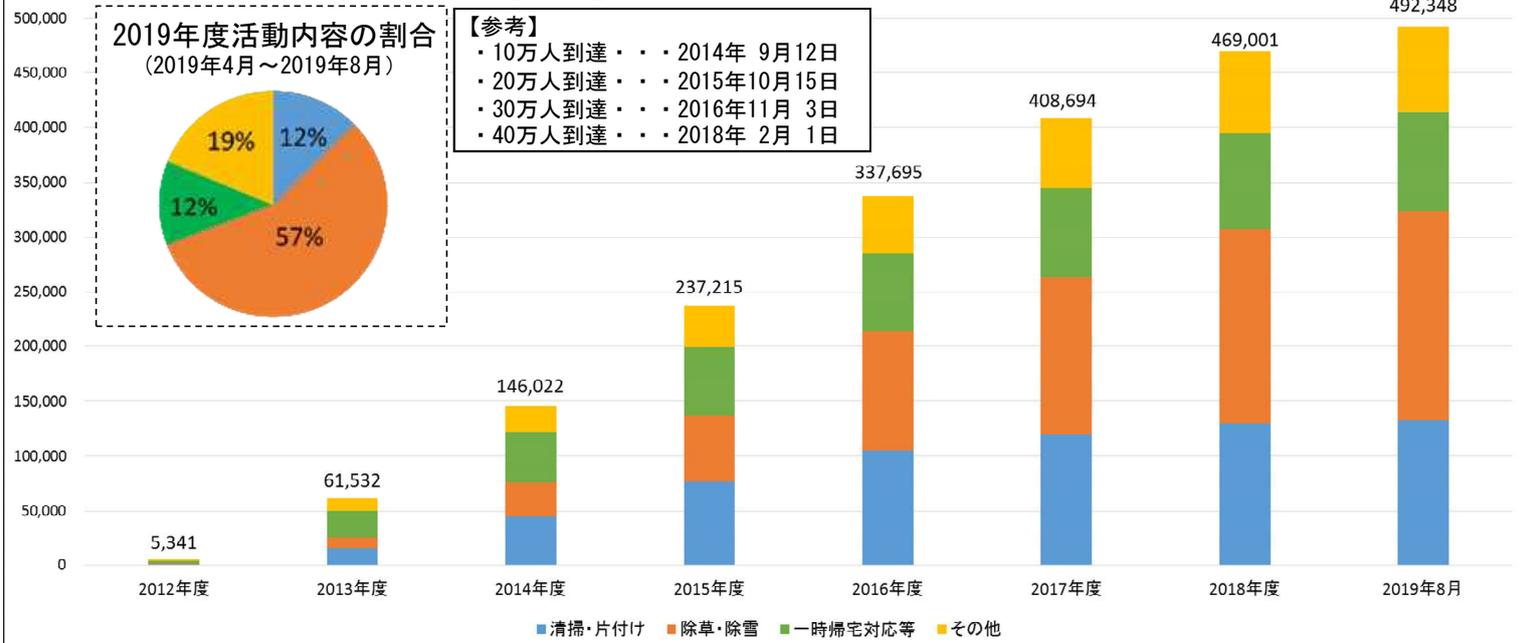
8月の活動実績合計

4,667人

復興本社設立 (2013年1月) からの累計

492,348人

(人) [活動内容別実績 (累積)] 2013年1月～2019年8月

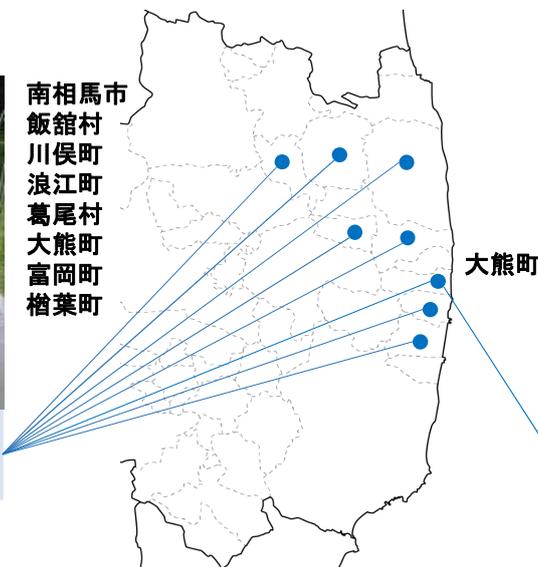


至近の主な取り組み



地域の皆さまへのお声掛け・訪問やお手伝い等の実施

南相馬市
飯館村
川俣町
浪江町
葛尾村
大熊町
富岡町
楢葉町



大熊町



「おかえり！なつ祭りinおおくま」への協力と参加

地域の皆さまへのお声掛け・訪問やお手伝い等の実施

- 各地域において巡回や地域の皆さまへのお声掛け、ご自宅や集会所等へお伺いするほか、専用の連絡先にお電話をいただくなどして、ご要望を承りお手伝いを実施
- 巡回やお声掛けにより地域の皆さまのご不安を少しでも和らげるとともに、ご自宅周辺の除草や清掃、家具・重量物の移動や片付け等のご要望をいただいた場合にお手伝いを実施

実施地域 実施時期	南相馬市 (2015年10月～)	飯舘村 (2014年 4月～)	川俣町 (2015年 8月～)
	浪江町 (2016年11月～)	葛尾村 (2015年 8月～)	大熊町 (2018年 4月～)
	富岡町 (2016年 9月～)	楡葉町 (2015年 6月～)	

※南相馬は小高区・原町区の一部、川俣町は山木屋地区

実施人数 社員 延べ7,234人が実施

お声掛け・訪問件数 8,024件

お手伝い件数 1,320件
 主な内容：ご自宅周辺の簡易な除草 380件、家具や重量物の移動・片付け 335件
 屋内外の清掃 261件

お声掛け・訪問 (例)

①地域を巡回



見回り中の様子
[2015年11月撮影]

②お声掛けやご自宅等を訪問



お声掛けの様子
[2019年9月11日撮影]

③お手伝い内容の確認



お手伝い内容の確認
[2019年9月11日撮影]

お手伝い (例)

楡葉町



庭木枝切り作業
[2019年3月5日撮影]

浪江町



片付け作業
[2019年3月7日撮影]

川俣町



現場確認の様子
[2019年9月11日撮影]

「おかえり！なつ祭りinおおくま」への協力と参加

実施時期 2019年9月6日 [会場設営：8人]
7日 [駐車場誘導・片付け：11人]

実施場所 大熊町（役場前広場）

実施人数 社員 延べ19人が協力 [お祭り参加：約80人]

- 実施内容**
- ・ 大熊町コミュニティづくり実行委員会の一員として町民の皆さまと一緒に、一部避難指示解除後初めての夏祭りとなる「おかえり！なつ祭りinおおくま」の企画に参画
 - ・ お祭りの前日は、櫓の組み立てやテント設置等の会場設営に協力
 - ・ 当日は駐車場誘導の他、福島第一原子力発電所の職員を中心に約80人が町民の皆さまと一緒に盆踊りやバーベキューに参加
 - ・ お祭り終了後は実行委員の方々と共に、櫓の撤去や資機材の片付けを実施

会場設営・駐車場誘導



資材の運搬
[2019年9月6日撮影]



櫓の組み立て
[2019年9月6日撮影]



テントの設置
[2019年9月6日撮影]



お祭りの準備
[2019年9月7日撮影]



大熊町役場(イベント会場)



駐車場誘導
[2019年9月7日撮影]

盆踊り・バーベキュー



盆踊りの様子
[2019年9月7日撮影]



バーベキューへの参加
[2019年9月7日撮影]



バーベキューへの参加
[2019年9月7日撮影]

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【JR名古屋駅構内の飲食店における福島フェア！「発見！ふくしま」の開催】

ジェイアール東海フードサービス(株)様が展開するJR名古屋駅構内の飲食店において、今年3月に続き、福島県産の食材を使用した特別メニューやお酒を提供する福島フェア！「発見！ふくしま」が開催中

➤ 日 時： 2019年9月17日(火)～10月11日(金)

➤ 場 所： JR名古屋駅構内の飲食店5店舗

- ・ 昨年9月と今年3月のフェアが大変盛況であったことから、3度目の開催が決定
- ・ 店舗ごとに福島県産食材の魅力を生かした新たなメニューを開発していただき、5店舗で7品を提供中

店舗名	ジャンル	提供メニュー
そば・酒処 みやび	そば・酒処	①水そばと麓山高原豚のミニ天井セット ②馬刺し ③“ふくしま”の味3種盛り
キッチンなごや	名古屋名物	④麓山高原豚の味噌カツ定食
Curry&Beer Bar WAVE	カレー	⑤西王母のピーチカレー
名古屋驛麺通り 蔵まち	ラーメン	⑥麓山高原豚の肉つけそば
カフェジャンシアヌ	カフェ	⑦ぴよりんと丸ごと桃のケーキ



フェアの様子[そば・酒処 みやび]



フェアの様子[キッチンなごや]



【福島県産品を使ったメニューの定番化】

- JR名古屋駅構内の「とり五鉄」では、今年3月に開催された福島フェア！「発見！ふくしま」で好評だったことから、継続して福島県産の川俣シャモを使った「川俣シャモの親子丼」を土日祝日限定の定番メニューとして販売



【福島県産の桃 試食販売会の継続開催】

- 福島県のフルーツを代表する桃の試食販売会を開催し、7月以降の販売会全体で、約9トン(10玉2.3kgの箱換算で3,900箱)を販売
- 首都圏での販売会と比較して、1日当たり約3倍を売り上げる好調な売れ行き*
- 首都圏の消費者の皆さまに大変ご満足いただき、開催企業からも好評を得て、今後のイベントも検討

※イベント運営会社へのヒアリングより



10玉入り2.3kg箱の例

開催場所	開催日	福島県産品の販売内容
東武百貨店様 船橋店	2019年8月15日(木)～20日(火)	「桃」の試食販売会
東武百貨店様 池袋店	2019年8月16日(金)・17日(土)	「桃・天栄米」の試食販売会
八木橋百貨店様	2019年8月17日(土)・18日(日)	「桃・天栄米」の試食販売会
九州屋様 西船橋店	2019年8月22日(木)・23日(金)	「桃・天のつぶ」の試食販売会
九州屋様 航空公園店 秋津店	2019年8月29日(木)・30日(金)	「桃・天のつぶ・福島県産牛」の試食販売会



試食販売会の様子
[東武百貨店様 船橋店]